出題趣旨・採点基準（刑事訴訟法）配点５０点

本問は、常習としてなされた複数の窃盗行為が存在する事例を題材に、一罪一逮捕一勾留の原則の意義、及び同原則の適用範囲ないし同原則が適用される場合の例外の要件を論じさせるとともに、保釈の取消しの判断における事件単位原則の適用の有無を検討させた上、これらに照らして当該事例における具体的帰結を述べさせることにより、被疑者・被告人の身体拘束に関する諸原理についての理解を問うものである。

これによって、基本的な法律科目に関する基礎的学識を習得し、法的な思考・判断力、理解・分析力及び表現力を備えているかを判定した。